

調査開始以降最高！ 86.3%の市民が「住みやすい」

住みやすさと定住意向の推移（さいたま市）



平成27年度から、「住みやすい」「住み続けたい」と感じてもらえる市民を増やし、2020年に市民満足度90%以上を達成することを目標とする『さいたま市CS90運動』に取り組んできました。

目標年となる今年度の市民意識調査において、市民満足度は過去最高の86.3%となりました。

「私はこの取組を市民満足度を一過性のものとすることなく、これまで以上に推進したい」と清水勇人市長は述べています。

埼玉県SDGs官民連携プラットフォームへ発起人として参加



10月23日、文化センター（南区）を会場に、埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム 第1回シンポジウムの開催が催され、発起人を代表して清水勇人市長が挨拶をしました。その中で「本市が埼玉県内の市町村と積極的に連携を図り、SDGsの実現のため、運営協議会の皆様とともに全力で取り組んでまいりたい」と力強く決意を述べています。

三ツ林内閣府副大臣が「まるまるひがしにほん」(大宮区)を視察



10月20日、三ツ林裕巳内閣府副大臣(地方創生担当)が「まるまるひがしにほん」を視察し、清水勇人市長と意見交換を行いました。

三ツ林副大臣からは、「さいたま市が地方創生の一環として、東日本を見据えた取組を行っていることについて敬意を表したい」との発言がありました。

また清水勇人市長は、三ツ林副大臣へ地方創生に関する要望書を提出し、その際に「今後とも内閣府をはじめ、関係府庁との密接な連携を深めつつ、さいたま市政の発展に努めていきたい」とコメントしています。